

コンプライアンス行動基準

1. 総則

私たち、社員一人ひとは、「お客様に満足していただく想い」と「常に誠実である姿勢」の精神に基づき、ライフサイエンス分野に従事する者として、すべての法令を遵守するとともに、常に、強い使命感と高い倫理観を持って業務を推進します。

2. 社会との関係

(1) 社会への貢献

ライフサイエンス分野を主体とした研究者へ QOL 向上に貢献する質の高い製品を供給することが、社会的責任の根源と認識し、企業市民としての責務を果たします。

(2) 法規範の遵守

法令遵守はもとより、社会規範、一般道徳を尊重し、良識ある企業活動を心掛けます。
当社が求められる企業倫理及びその価値を十分に認識し、いかなる時においても高度の倫理性に根差した事業活動を展開します。

(3) 各種業法の遵守

取扱商品、商取引、各種サービスに係る関係業法を遵守し、許認可取得及び届出等の必要性が生じる場合には、迅速で公正な手続を確実にします。

(4) 寄付について

医療機関、学術団体等への寄付については、医療の向上、進歩等を目的とします。
また、医療機器業公正競争規約を遵守し、事前に社内規定に従って承認を受け、寄付拠出の透明性を確保します。

(5) 環境保全・保護

- ① 事業活動全般において、常に環境保護の重要性を十分に認識し、環境に関する条約・法令等を遵守したうえで、環境保全・保護に努めます。
- ② 社員一人ひとりが環境意識の向上を図り、エネルギーや資源の無駄を最小にする環境保全の取り組みを心がけます。

(6) 反社会的勢力との関係遮断

私たちは、社会の秩序や安全に脅威を与える反社会的勢力および団体とは関係を持たず、不当、不法な要求には一切応じません。

3. 顧客・取引先・競争会社との関係

(1) 製品の安全性

- ① 製品の販売、管理、輸送、補修、修理等にあたっては、常に安全性に留意し、製品の安全に関する法律及び安全基準を十分に理解した上で、これを遵守するとともに、より高度な安全性をお客様に提供することを目指します。
- ② 製品の安全性に関する情報を入手した場合には、関係部署に速やかに連絡し、適切な対応を行います。

(2) 独占禁止法の遵守

いかなる状況であっても、カルテルや談合、再販売価格の維持、優越的地位の濫用、抱き合わせ販売等の独占禁止法違反となるような行為を行わず、公正で自由な企業間競争を行います。

- ① 同業者間や業界団体で、価格、数量、生産設備等についての協議・取り決めを行ったり、入札談合を行うなど不当な取引制限を行いません。
- ② 同業者間や業界団体で共同して、特定の事業者や新規事業参入者との取引を拒絶したり、販売先の販売価格を拘束するなど不公正な取引方法となるような行為を行いません。
- ③ 独占禁止法上の疑義や解釈は、自らの判断に頼らず、社内の法務担当若しくは法務担当を通じて弁護士へ相談します。

(3) 不正競争の防止

- ① 他社の営業秘密を不正に取得・使用・開示しません。
- ② 不正な手段により取得されたものであることを知りながら、またはその可能性があることを知りながら、他社の営業秘密を取得・使用しません。

(4) 接待・贈答

- ① 取引先への接待・贈答を行う場合には、会社のために行うことを前提とし、一般社会的な常識の範囲内とし、自己の私腹のためだけに行うようなことはしません。
- ② 顧客や取引先等からの接待・贈答を受ける場合は、あくまで一般社会的な常識の範囲内とし、自己の私腹を肥やすことはしません。

(5) 公務員等に対する贈賄禁止

政府や地方公共団体等の役職員に対して、営業上の不正な利益を得るために、またはビジネス上の便宜供与の見返りとして、金銭等の利益の供与を行わず、その約束・申し出もしません。

(6) プロモーション活動

- ① 私たちは、医療機関、医療従事者等への学術的情報提供の際は、関連法令、医療機器業公正競争規約、プロモーションコード等を遵守し、高い倫理観をもち、公正で責任あるプロモーション活動を展開します。
- ② プロモーション活動にあたって発信する文書・情報には、他社を誹謗・中傷するような表現や偏見、差別につながる用語は一切使用しません。

4. 社員との関係

(1) 人権尊重・差別禁止

- ① 健全な職場環境を維持することに努め、各自の人権を尊重し、差別につながる行為やいじめは一切行いません。
- ② 出生、国籍、人種、民族、信条、宗教、性別、年齢、各種障害、趣味、学歴等に基づく非合理的あらゆる差別、いじめを行いません。

(2) ハラスメント

- ① 男女を問わず社員のすべてが、ハラスメントのない環境で働く権利を有しています。暴力、罵声、誹謗、中傷、威嚇等による不利益の強要、不当な業務の強制、ハラスメントによる人権の侵害・否定などは決して行いません。
- ② 性的嫌がらせ、または他人に性的嫌がらせと誤解されるおそれのある行為、発言等を行いません。
- ③ 相手に不快感を与える性的な言動や行為は、これを一切行わないとともに、他人がこれを行わないよう防止についても徹底します。
- ④ 職権等のパワーを背景にして、本来の業務の範囲を超えて、継続的に人権、人格または尊厳を侵害する言動を行い、役職員の働く関係を悪化させることや雇用不安を与えるようなことは行いません。

(3) プライバシーの保護

業務上知りえた社員および社外の人間の個人情報については、業務目的のみに使用し、厳重に管理します。また、外部に情報が漏えいしないよう適切に取り扱います。

(4) 職場環境の充実

- ① 私たちは、労働基準法、労働安全衛生法などの労働関係法令を遵守します。
- ② 会社は、労働災害の防止と疾病の予防、健康の保持・増進に努め、働きやすく清潔な労働環境の整備と職場の活性化を図ります。

(5) 就業規則、社内規程の遵守

- ① 社員は、常に就業規則、社内規程を遵守します。
- ② 就業規則、社内規程に定められた禁止事項は一切行いません。
- ③ 就業規則、社内規程に準ずるような不正または不誠実な行為は一切行いません。

5. 会社との関係

(1) 適正な会計処理

- ① 官公庁への提出書類等は正確に記録し、隠匿、改ざん等の行為は一切行いません。
- ② 会社会計においては、会社法、証券取引法、企業会計原則、金融商品取引法、その他の関係法令および社内の諸規程等を遵守し、適正な財務諸表、有価証券報告書、帳簿等の作成に努めます。
- ③ 不正経理、粉飾決算等の行為を一切行わず、税法を遵守し、適正に納税します。

(2) 利益相反禁止

- ① 会社と利害関係の対立を起こすような活動に関わらないようにします。
- ② 私たちは、取引先、医療機関、行政、地域住民等、いわゆるステークホルダーとの関係を公正、健全なものとし、職務上の地位や権限を利用し、違法または不当な利益(金銭、物品、便益等)の提供に関与しません。

(3) 政治・宗教活動の禁止

社員自身の政治・宗教団体への加入は政治・信教の自由であり是認されるものですが、就業時間中に、政治活動や宗教活動を行いません。

- ① 就業時間中に、政治団体への勧誘、選挙の際の投票依頼、選挙活動等の行為は一切行いません。
- ② 就業時間中に、宗教団体への勧誘、信条の押しつけ、寄付の依頼、勧誘パンフレットの配布等の行為は一切行いません。

(4) 企業秘密の管理

企業秘密は適切に管理し、会社に無断で社外に開示・漏洩しません。

- ① 自社の企業秘密を社内で特定したうえで厳重に管理し、社外に漏洩したり、業務目的以外の目的には使用しません。
 - ② 会社の秘密情報を社外に開示する場合は、秘密保持契約を結ぶなど、秘密情報の漏洩防止に備えます。
 - ③ 他社の企業秘密は適切な方法で取得するとともに、他社から許容された範囲内で使用します。
- (5) 情報システムの適切な使用
- ① 会社の情報システムは業務のためのみに使用し、個人的な目的のために使用しません。
 - ② 会社の情報システムに関わる ID やパスワードは厳重に管理し、他人に教えることや社外への漏洩を防ぎます。
 - ③ 他人の ID やパスワードを盗用することや、他人のコンピュータシステムに侵入することはありません。
- (6) 知的財産権の保護
- ① 私たちは、知的財産権(特許権、実用新案権、商標権、意匠権、著作権等)の重要性を認識し、これらの基本法令の取得に努めます。
 - ② 自社の知的財産を大切に尊重し、他社の知的財産の侵害防止に努めます。
- (7) 会社財産の取り扱い
- ① 私たちは、会社の資産・資金を不正・不当な目的のために使用しません。
- (8) 適正な記録・報告
- ① 私たちは、業務に関する記録や報告を適正かつ迅速に行い、事実と反する記録や報告を致しません。

2015年1月13日制定